２０２４度事業計画

　(令和６年１月１日～令和６年１２月３１日)

１．事業実施の方針

**子どもの心に寄り添い心を受けとめ生きる力を支援する活動の充実と発展を図る。**

1. 電話とチャットで子どもの声を受けとめる。
2. 受け手と支え手の資質の向上とモチベーションの維持を図るために定期的な研修を必修とする。
3. 全国のチャイルドラインと協力体制をとり情報を共有し運営や研修に生かす。
4. オンライン養成講座を開催し受け手を養成する。
5. チャイルドラインとちぎの運営指針に基づき新たな運営のあり方を創造する。

**子どもの権利条約に保障された子どもたちを支える社会環境をつくるために地域社会に提言活動を行う。**

1. チャイルドライン支援センターに協力し全国のチャイルドラインとともに全国的な規模で受けとめた子どもたちの声を社会に発信していく。
2. 広報誌や実施報告書を発行し広報普及に力を入れる。
3. 公開講座を開催するなど、広く一般の方に「子どもの現状」の理解を広める。

２．事業の実施に関する事項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 事　業　内　容 | 実　施 日　時 |
| 1  研修  事業 | 子どもの声を聴く事業の実施 | 電話毎週月・金・第2日・第3土　　16時～21時  チャット 毎週火曜日　　16時～21時  ネット電話　毎週月曜日16時～18時半  　　※曜日時間等は変更する場合もある |
| 継続研修 | 1. 1月20日(土)1月24日(水)2月4日(日)　エリア研修 2. 1月21日(日)　アクティブリスニング　栃木理事 3. 3月3日(日)「不登校の子どもの現状」土橋優平氏 4. 4月7日(日)「チャイルドラインとは・ロールプレイ」　　　　福本理事長 5. 5月12日(日)「栃木の子どもの現状」栃木県警 6. 7月28日(日)「性について」　にんしんSOS 7. 「現地研修」 8. 「子どもの貧困・居場所」 9. 「発達障害」 10. 「薬物依存　自傷行為OD」   ※月1回を目安に開催  ※⑦～⑩時期・テーマについては調整中 |
| オンライン逐語2回に分ける11月 |
| オンライン養成講座 | 4月21(日) |
| 支え手会議(研修)の開催 | 年2回 |
| 子どもたちに配布するカード・ポスターの作成と広報 | 年間約20万枚のカード配布  (県内全域の小学校・中学校・高等学校等) |
| 2  啓発事業 | 公開講演会の開催 | 1. 公開講座　　橘　ジュン氏　 6月23日(日) |
| 広報普及 | 実施報告書の発行　　　広報誌の発行 |
| 啓発のためにイベントを主催 | チャリティゴルフコンペ |
| 啓発のためにイベント等に参加 | 1. ﾌｪｽﾀMy宇都宮・ふれあいフェス・スポーツゴミ拾い 2. サンタdeラン 3. つながりサポートネットワークに参加協力   ※その他状況に応じて参加する |

**＜　財　政　＞**

実施報告書や広報誌等の有効な活用を図り、県内企業や個人の賛助会員についても、計画性を持って積極的な働きかけを継続的に行っていきたいと考えます。

チャイルドラインの意義を広報しながら寄付を募ることを会員一人ひとりが自覚をもって取り組む。

**＜　研　修　＞**

オンラインチャットのシフトを充実させるため、第3期オンラインチャット養成講座を開催します。

ご意見BOXを設置し、会員の声を集めて参加しやすい研修を企画したいと思います。

研修の個人目標を明確にして、会員全員が目標を達成できるようにしていきたいと思います。また受け手、支え手研修を積み重ね、より一層のスキルアップを図りましょう。

今後、過去４年間実施出来なかった実地研修を予定しています。

**＜　広　報　＞**

子どもたちへの発信として、例年どおりカード配布やポスターの掲示などによりチャイルドラインをより身近なものと感じてもらえるよう広報に努力したいと思います。

又小山市内の小中学校では、配布されレいるタブレット端末のトップページから直接チャイルドラインにアクセス出来るようになりました。今年度はもっと多くの市町村での取り組みが進むように働きかけをしていきたいと思います

社会発信としての活動は、いろいろな交流会やイベントなどにも積極的に参加したいと思います。

リニュ―アルしたホームページを使ってより伝わりやすい情報を発信していきます。

広報誌もホームページより閲覧できますので、ご覧ください。

ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどSNSでの発信も引き続き積極的に行っていきたいと思います。

生きづらさを感じている子どもが多いこの社会において、他の団体、NPOとも手を携え、子どもの現状の理解と支援にも目を向け、広報誌などを通じて社会発信していきたいと考えています。

広報誌の発行は、第36号・第37号の発行を予定しています。

　通信は平成16年2月(2004年)から20年に渡って、会員間の情報の共有やお知らせなどのために発行してきましたが、最近はLINEなどでリアルタイムでの情報発信や共有ができるようになったため終了することになりました。